



船橋地域デポが推進している障がい者理解体験教室(船橋市内の小学校で。写真は視覚障がいの体験)

千葉 YMCA ニュースボード

2019年8月1日 第244号

www.ymcajapan.org/chiba/

創立 50 周年に向かって 歩みを進める

千葉 YMCA は 1971 年に誕生し 2021 年に創立 50 周年を迎えます。この間、会員の運動体として様々な活動・事業を展開してきました。特に青少年の成長に寄与する活動に力を入れてきました。2005 年からは「千葉市少年自然の家」の運営を市から託され 15 年間順調な歩みを進めてきましたが、このたび一区切りを迎え次の継続に向けての動きが始まっています。2014 年からは一般財団法人千葉 YMCA となり、新たな装いで地域社会に奉仕する公益法人として再スタートしました。現代社会は多くの課題を抱えています。特に弱い存在、小さくされている存在に対する寛容さに欠けている気がします。新規事業として子どもたちの伴走者としての働きを強めてゆこうとして準備を始めています。キリスト教信仰の下に今後も「人間が人間らしく暮らせる社会」を目指して歩みを続けてまいります。

千葉 YMCA 総主事 廣田光司

◆キャンプ・特別プログラム情報

今年度の夏季プログラムは、キャンプを 8 本行います。定員は各 40 名ですが、受付開始間もなく、ほとんどのキャンプが定員に達しました。千葉市内の小学校に積極的な広報を行ったことにより、初参加の子どもたちが増えたこと、また、大学生リーダーに加え、これまでに参加経験のある中高生がジュニアリーダーとして参加することも大きな特徴の一つです。

日帰りプログラムとしては、東京消防庁 本所防災館等を訪問する「3 日間社会科見学ツアー」、また「英語 de デイスクール」も 11 回実施されます。YMCA を通して、子ども達が素晴らしい出会いと発見、豊かな経験に恵まれますよう、スタッフとリーダーが一つとなって、夏のプログラムに取り組んでいます。

◆同盟協議会出席の報告

6 月 15～16 日に東山荘で開催された、第 8 回日本 YMCA 同盟協議会に(仕事で欠席された千葉選出の代議員朝井悦郎さんの代理として)出席しました。

2018 年度の事業報告、決算報告、2019 年度の事業方針計画、予算の発表と「日本 YMCA 中期計画 2020」事例報告、「アジア・世界の YMCA 運動の潮流」の発表、総主事会議を踏まえてのパネルディスカッションなど、盛り沢山の内容でした。

中でも印象的だったのは、「思いを形に変えるユースチャレンジ 2019」の発表で、沖縄戦の語り部に話を聞き

後世に伝える(京都 YMCA)、留学生を中心にビジネス立案(大阪 YMCA)、多文化共生イベントの開催(とちぎ YMCA)(関西大学)、チキップキャンプ場の水を飲料水に出来るか(北海道 YMCA)の紹介がありました。各 YMCA に 7 万円の応援金が渡されたそうです。2020 年度の募集も秋から始まるので今後も楽しみです。総主事会議を踏まえてのパネルディスカッションは、スマートホンを活用したフロア参加が初めての取り組みで、タイムリーな質問、質問の共有感が実現されました。 本会常議員 鈴木美和子

◆今年のチャリティーラン

10 月 12 日(土) 船橋運動公園で開催するミニ駅伝大会です。実行委員会が始動しています。

◆健康ウォーキング

今年度も、千葉ワイズメンズクラブの主宰、YMCA 会員委員会の協賛で、9 月以後の奇数月原則第 4 土曜に「健康ウォーキング」を実施します。

◆船橋地域デポを支援するクラブ

千葉センターを支援する千葉ワイズメンズクラブがスポンサーとなって、船橋地域デポを支援する新クラブを設立する準備を進めています。

○千葉センター 043-222-3811

○船橋地域デポ 047-425-6366

○千葉市少年自然の家

0475-35-1131

ニュースボード編集:青木一芳(理事)

メール kkaoki@myad.jp